



第761号 付録

2000年12月17日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB:http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL:comm.tko@nskk.org
Phone:03-3433-0987, Fax:03-3433-8678 (Diocese Office)

新しい世紀に向かう私たちの世界は、さらに世俗化が進み、信仰生活も単にプライベートな領域のものとしてのみ捉えられる傾向が顕著になるものと予想されます。また教会も、経済、教育、福祉など他の領域と同じく、構

「ノヴェナ」に寄せて

今、私たちは新たな千年期を迎えようとしています。歴史に示される神の救いの業は、ある意味では、人間とすべての被造物の救済を目的とした神の聖なる平和と和解のためのプロジェクトです。独りのみ子をこの世に派遣し、その受難と死を通して、この働きは貫徹されました。私たちのすべての働きは、この神のみ心に奉仕し、また神がみ子をこの世に派遣したというみ心への信心として実施されなければなりません。

創造的な変化の挑戦を受けるようになると思われれます。そのような時代の移り変わりの中で、神のみ子と聖霊の派遣に奉仕し、私たちの働きを推し進めるためには、新しい出来事に期待しつつ神の導きを待ち望むという信心が不可欠です。そのためにも礼拝と祈祷の勤めを中心とする信仰生活の中で霊性を養いつつ奉仕の働きをなしてゆかなければなりません。年末年始、現在のプロジェクト・チーム等の取り組みから「平和と和解」というテーマを思い巡らしながら、九日間の礼拝「ミレニアム・ノヴェナ」を行います。新しい年、新しい世紀、新しい千年期を迎えるにあたって、私たちがこのようなデヴォーション（献身の祈祷）を行うことはふさわしいことであると信じます。皆さんに、できる限りこの勤めに参加されることをお勧めします。

東京教区主教 竹田 眞

味)。「使徒言行録」に描かれるように、昇天から五旬祭の聖霊降臨の時までの九日間、マリヤや女性たち、使徒たちが熱心に祈り続けたという記事(1章13・14節)に倣って、特別な機会、特別な祈願の礼拝として一七世紀位から行われてきました。

今回の場合は一日目(26日)と中間(31日)と最終日(1月6日・顕現日)の主教座聖堂での礼拝、そして教区の六つの教会グループと、各プロジェクトチーム等の協働が、この九日間の中に織り込まれています。

東京教区の
これまでとこれから
特に、各プロジェクトチーム

等が企画・立案した礼拝はこれまでの活動に即した、黙想と祈りの礼拝です。

竹田主教の着座と軌を一にして、私たち東京教区では様々な議論と検討を踏まえて「教区宣教方針」を策定し、機構改革により導入された「プロジェクト制」と「教会グループ協議会」を教区宣教活動の中心と踏まえて実践を繰り広げてきました。それはまた世紀末の二〇年を「福音伝道の二〇年」として捉えようとのランベス会議(全聖公会主教会議)での呼びかけに応じ、「遣わされた様々な場で私たちは「最も小さい者」(マタイ25・40)の声を聞き、悔い改め、共に苦しむ事を通して、主に会つ(宣教方針から)「こ

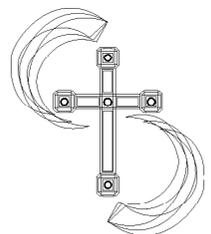
とを目標にした働きでした。この教会グループを巡りながら献げられる九日間の礼拝を通して、私たちは東京教区のこれまで、特にこの「福音伝道二〇年」の歩みを振り返り、また今後へのヴィジョンを与えられることと信じます。

司祭 加藤博道
(主教座聖堂活動委員会)

ごぞ皆さんで
「参加ください」

九日間の礼拝全体が教区主教を主宰者とした教区礼拝です(最終日1月6日は竹田主教司式・説教の教区新年礼拝)。全聖職、そして信徒の皆様が積極的に参加されますように願っています。

(この用紙は再生紙を使っています)



MILLENNIUM NOVENA

新千年期へむけて 9日間の礼拝

A.D. 2000-2001

12. 26(水) 7:00p.m. 私たちの口を開いてください
—聖アンデレ主教座聖堂—Tel.03(3431)2822

12. 28(木) 7:00p.m. 声なき叫びを聴かれる神 …カバティランプロジェクト
—東京聖三一教会—Tel.03(3421)3646

12. 29(金) 7:00p.m. 隔ての壁を打ち砕かれた主 …人権委員会
—三光教会—Tel.03(3781)2554

12. 30(土) 7:00p.m. 人に命を与えられた造り主 …「障害者」プロジェクト
—目白聖公会—Tel.03(3951)5010

12. 31(日) 11:30p.m. 平和の主に従う群たち
—聖アンデレ主教座聖堂

1. 3(水) 7:00p.m. 涙する人とともにある主 …聖公会AIDSプロジェクト
—神聖教会—Tel.03(3802)2455

1. 4(木) 7:00p.m. すべてを新しくされる命の風 …教育・奉仕ワーキンググループ
—小金井聖公会—Tel.0423(81)3256

1. 5(金) 7:00p.m. アジアの歴史に立たれる神 …日韓交流&日韓在日プロジェクト
—立教学院諸聖徒礼拝堂—Tel.03(3985)2698

1. 6(土) 2:00p.m. 主と共に歩む新千年期 (顕現日・教区新年礼拝) 日本聖公会東京教区
—聖アンデレ主教座聖堂



Diocese of TOKYO, N.S.K.K.
www.nshk.org/tokyo

ミレニアム・ノヴェナ

九日間の礼拝について

祈りに終わり・

祈りに始める

二一世紀・新しい千年期を迎えるこの時、12月26日から、翌年1月6日・顕現日まで、九日間にわたる東京教区の礼拝が続けられます。

この時をどのように教区として迎えるのか、宣教委員会等を中心に検討されてきました。そして、やはり祈りをもって、礼拝を中心に」という結論に至ったものです。教会は時の節目ごとに祈ってきまし。時代の中で、時の移り変わりの中で祈り続けてきたからです。

人類史上に残る戦争と核の世紀を後に

特に二〇世紀は人類史上でも最大の戦争の世紀でした。想像を絶するような科学技術の進歩と同時に、一瞬にして神の創造を破壊することの出来る核をも手にし、それが用いられた大きな悲劇の世紀でもあるのです。

日本の歴史にとっても特別な世紀です。その世紀の終わり、そして新しい世紀の始まりを、祈りのうちに迎えたい。私たちのこの特別な礼拝での祈りの主題は「平和と和解」です。

ノヴェナの祈り

もともと「ノヴェナ」とは九日間の「献身と祈禱」を意味しています。novem は「九」という意